令和5年度　事業報告書
（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

認定NPO法人千葉県東葛地区・生と死を考える会

1　事業実施の成果

令和 5 年度も悲しくつらい思いをしている人に寄り添うことはどのような社会になっても必要であるという信念のもと展開してまいりました。病院内で行っている事業はまだ再開できないところもありますが、それ以外はコロナ前の状態で実施することができています。コロナ禍でオンラインという手法を多くの会員が学びました。オンラインのスキルを得ることで、会員が例会や会議等に参加できる機会を増やすことができ活動にコミットしやすくなりました。

法人としては、通常通り事業計画予算、事業報告決算の理事会を開催し、また 任期満了に伴う役員の改選を行いました。また「認定」NPOを取得したことから寄付者に対し、「寄付金受領証明書」を2月上旬に郵送しました。

社会教育事業については、月例講演会を対面/オンラインのハイブリッドで、参加できなかった方には後日アーカイブ視聴を実施することができました。ホスピス・ボランティア養成講座とフォローアップ講座はすべて対面で行いコロナ前の状況に戻ることができました。受講者も30名を越え関心の高さが伺えました。30周年記念大会は全国協議会全国大会を兼ね、麗澤大学の協力の元、こちらも対面/ハイブリッド、アーカイブ視聴で開催しました。オンラインの開催は参加の機会を増やすことができ、会員や一般参加の方の多くの学びになりました。また全国協議会の会員の方と久しぶりに交流ができ現況や情報交換等の有意義な時間となりました。

患者と家族を支援する事業については一部の医療施設及びホスピス施設は活動ができるようになりました。そしてホスピス・ボランティア養成講座を経て新たなスタッフも迎えて傾聴/アロマトリートメントをすることができました。

死別体験者を支える事業については、コロナ前の活動状況に戻り、利用者数もコロナ前以上の会場も多くあります。新たにペットグリーフをお持ちの方に対しての分かち合いをスタートしました。チラシを作成、配布をして広報にも努めました。また電話相談と個別相談はグループで対応が難しい方、遠方の方にとっての分かち合いとなっています。電話相談はニーズに応えるため一月の回数を3回から4回に増やしました。

広報・情報提供事業については、例会や各事業をホームページで紹介、またそれらを Facebook、X（旧Twitter）で発信しました。加えて7月にニューズレターを作成しました。

2　法人運営

・第12回通常社員総会の開催　2/25
・理事会の開催（オンライン参加可）
　第27回 1/21　事業報告決算、修正事業計画予算、任期満了に伴う役員改選、世話人
　第28回 6/3　CANPAN決済サービス（クレジット決済）中止
　第29回12/23　事業計画予算、次期役員世話人、仮決算

3　委員会の開催

・患者を支える会運営委員会　7回
　各活動スタッフミーティング及び勉強会延べ19回
・グリーフケア運営委員会　3回
　グリーフケア講座打ち合わせ　6回
・30周年実行委員会　7回

4　事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動にかかる事項

事業名	事　業　内　容			実施日時等及び回数	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
(1)生と死をめぐる社会教育事業	月例講演会/上映会及びデスカフェ			後述のとおり	後述のとおり	6 人/回	柏市内外の会員及び非会員。人数は後述のとおり
	メモリアルサービス（追悼音楽礼拝）			11 月 25 日（土）14:00～17:00	キャンパスプラザ会員会館	6 人	柏市内外の会員 19 人
	ホスピス・ボランティア養成講座	本講座		4 月～7 月全 10 回 13:30～15:00	麗澤大学あすなろ校舎 2504 教室及びキャンパスプラザ会員会館	6 人/回	柏市内外の受講者 31 人
		フォローアップ講座	傾聴、アロマトリートメント、感染予防、オリエンテーション	7 月 29 日（土）10:00～16:00	麗澤大学あすなろ校舎 2504 教室	6 人	柏市内外の受講者 23 人、会員 4 人
			施設ボランティア実習	8 月 12 日（金）～12 月 18 日（月）13 回	島村トータル・ケア・クリニック	2 人	柏市内外の受講者延べ 21 人
				8 月 4 日（金）～12 月 22 日（金）13 回	マザアスケアセンター在宅ホスピス南柏	2 人	柏市内外の受講者延べ 20 人
		歓迎会		12 月 2 日（土）11:00～14:00	キャンパスプラザ会員会館	6 人/回	柏市内外の受講者 16 人及び会員 5 人、施設受入担当者 3 人
	ホスピス・ボランティアのための読書会『物語としてのケアーナラティブアプローチの世界へ』			原則第 2 土曜日 10:00～11:30 9 回	オンライン	1 人	当会の会員 7 人
	30 周年記念大会および生と死を考える会全国協議会全国大会			10 月 14 日(土)10:00～15 日（日）12:00	対面及びオンライン	32 人及び学生 22 人	2 日間延べ対面 149 人、オンライン 35 人、アーカイブ視聴 47 人
(2)患者と家族を支援する事業（ホスピス・ボランティア）	患者を支える会（傾聴及びアロマトリートメント）			不定期の月曜・土曜 14:00～16:00 29 回	島村トータル・ケア・クリニック	2 人/回	当施設の入所者、延べ 94 人
				毎週金曜 14:00～16:00 40 回	マザアスケアセンター在宅ホスピス南柏	4 人/回	当施設の入所者、延べ 314 人
(3)死別体験者を支援する事業（グリーフケア）	まんりょうの会（自死遺族の語り合いの場）			第 3 日曜 10:30～12:30 12 回	当会事務所	2 人/回	柏市とその近辺市民延べ 30 人
	喪失体験者の集い			第 3 日曜 13:30～15:30 12 回	当会事務所	3 人/回	柏市とその近辺市民延べ 85 人

	痛みの分かち合いの会	第1木曜 13:00～15:00 12回	パレット柏及び当会事務所	4人/回	柏市とその近辺市民延べ97人
	遺族のためのグリーフケア	第1水曜 13:30～15:30 12回	柏地域医療連携センター	3人/回	柏市とその近辺市民延べ20人
	こころの痛みの相談室	第2水曜 13:30～15:30 12回	当会事務所	2人/回	柏市とその近辺市民延べ30人
	子どもグリーフサポートの集い	偶数月第1日曜 5回	当会事務所	8人/回	千葉県内から子ども延べ14人、大人延べ11人
	大切な人を亡くした方の集い	月最終火曜 13:30～15:30　12回	守谷市中央公民館	3人/回	守谷市とその近辺市民延べ14人
	大切な方やご家族を亡くされた方の集い	第1金曜 13:30～15:30　12回	流山野々下福祉会館	1人/回	流山市とその近辺市民延べ53人
	ちばグリーフサポート	第2月曜（祝祭日休） 14:00～16:00　10回	千葉市Qiball（きぼーる）	4人/回	千葉市とその近辺市民延べ66人
	わかちあいの会（グリーフサポート埼玉）	原則第4日曜 13:30～15:00 12回	越谷市民活動支援センター	6人/回	越谷市とその近辺市民延べ106人
	ペットに関するグリーフサロン	第2土曜 13:30～15:30 12回	当会事務所	2人/回	柏市とその近辺市民延べ12人
	個別相談	希望者と日程調整 10:30～12:00または 13:30～15:00	当会事務所	1人/回	柏市とその近辺市民延べ22人
	電話相談	第1月曜20:00～22:00、第2火曜20:00～22:00、第3金曜20:00～22:00、第4火曜10:00～12:00 計48回	担当者自宅にて電話転送	4人	延べ59件（対象は全国民）
(4)広報・情報提供事業	ニューズレターの作成	7月	当会事務所	2人	会員・市民他関連団体500人
	ホームページの更新、生と死に関する情報提供（ウェブ記事、新聞記事紹介）	随時	当会事務所	1人	会員及び市民
	Facebook、X（旧twitter）、canpan(日本財団)、	随時	当会事務所	1人	会員及び市民

※死別体験者を支援する事業（グリーフケア）にて、上智大学グリーフケア研究所のグリーフケア人材養成講座受講生の実習の受入を行いました。48人の参加がありました。
※「柏市自殺予防対策連絡会議」に竹内理事長が委員として参加
※「柏市自殺予防対策相談窓口案内冊子」に当会のグリーフケアが掲載
※柏市「がんサポートハンドブック」に当会のグリーフケアが掲載
※「柏市立柏病院倫理委員会」に竹内理事長が委員として参加
※「松戸市自殺対策部会」にオブザーバーで竹内理事長がオンラインで参加
※松戸市「いのち支える連携ガイドブック」に当会のグリーフケアが掲載
※松戸市「おくやみハンドブック」に当会のグリーフケアが掲載
※八千代市リーフレット「大切な人を亡くされた方へ」に当会のグリーフケアが掲載

※月例会について　時間は 14:00～16:00

日　程	演題	講師	実施場所	参加者人数
1 月 28 日 （土）	「いのちの終わり」をどう考えますか？ －患者さんの語りを手がかりにー	当会理事、 上智大学大学院生 **白崎知美**氏	オンライン	会員 28 人 非会員 1 人 アーカイブ視聴 会員 6 人
3 月 25 日 （土）	デスカフェ 「死ぬ前に感じること」		麗澤大学 あすなろ校舎 2504 教室	会員 9 人 非会員 1 人
4 月 22 日 （土）	魂の帰する場所 ―自己の死生観を深めるー 奄美大島のフィールドワークから得たもの	公財モラロジー道徳教育財団道徳科学研究所客員教授 **田島忠篤**氏	麗澤大学 あすなろ校舎 2504 教室	会員 15 人 非会員 6 人
5 月 27 日 （土）	水野治太郎先生が生と死を考える会で目指したこと	当会理事長、 麗澤大学名誉教授 **竹内啓二**氏	麗澤大学 あすなろ校舎 2504 教室	会員 21 人 非会員 7 人
6 月 24 日 （土）	がんについて、医師の立場から伝えたいこと	三重大学医学部附属病院輸血細胞治療部部長、病院教授、医学博士 **大石晃嗣**氏	麗澤大学 あすなろ校舎 2504 教室および オンライン	（対面） 会員 9 人 非会員 6 人 （オンライン） 会員 10 人 非会員 7 人 アーカイブ視聴 会員 10 人 非会員 7 人
9 月 9 日 （土）	（上映会） ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～ 30 周年記念大会プレ上映会		麗澤大学 あすなろ校舎 2504 教室	会員 19 人 非会員 10 人

※30 周年記念大会および生と死を考える会全国協議会全国大会について
テーマ「喪失から受け取るもの」～新しい物語、ナラティブの始まり～

日　程	演題	講師	実施場所	参加者人数
10 月 14 日 (土)	開会挨拶	当会理事長 **竹内啓二**氏 生と死を考える会全国協議会会長 **髙木慶子**氏 麗澤大学副学長 **渡邊　信**氏	麗澤大学かえで棟 1503 教室及びオンライン	(対面) 会員 37 人 非会員 59 人 計 96 人 (オンライン) 会員 4 人 非会員 12 人 計 16 人
	「認知症の母が命懸けで教えてくれたこと」	映画監督 **信友直子**氏	麗澤大学かえで棟 1503 教室及びオンライン	
	デス・カフェ テーマ①「生老病死にどう向き合うか」 テーマ②「魂の存在、スピリチュアリティについて」 テーマ③「死とテクノロジー」		麗澤大学かえで棟 1411～1413 教室	会員 27 人 非会員 38 人 計 65 人
10 月 15 日 (土)	「地域における緩和ケア～暮らしの保健室と社会的処方」	一般社団法人プラスケア代表理事、川崎市立井田病院腫瘍内科部長 **西智弘**氏	麗澤大学かえで棟 1503 教室及びオンライン	(対面) 会員 24 人 非会員 29 人 計 53 人 (オンライン) 会員 5 人 非会員 14 人 計 19 人
	「自分自身の人生『生と死』を考えたことがありますか？	生と死を考える会全国協議会会長、上智大学グリーフケア研究所名誉所長 **髙木慶子**氏		
	閉会挨拶	当会副理事長 **川久保剛**氏		

※アーカイブ（録画視聴）申込者は会員 8 人/非会員 39 人/計 47 人、再生回数 165 回